

科目ナンバー： BC4053

授業コード： 2230400500

講義科目名称： 公衆衛生看護学演習

英文科目名称： Practice in Public Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	保健師課程必修
担当教員			
高林知佳子、野口裕子、◎前川絵里子、久保野裕子、佐藤さゆり			
添付ファイル			

授業種類	【開講】	【授業時間】		
	後期	30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	高林 知佳子	新潟県立看護大学	304	takabaya@niigata-cn.ac.jp
	野口 裕子	同上	209	yuko@niigata-cn.ac.jp
	◎前川 絵里子	同上	307	maekawa@niigata-cn.ac.jp
	久保野 裕子	同上	共同研究室2	kubono@niigata-cn.ac.jp
	佐藤 さゆり	同上	共同研究室2	sayusato@niigata-cn.ac.jp
	実務経験のある教員が担当します。			
【本学の科目区分】				
専門科目				
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】				
保健師課程				
【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】				
◎				

到達目標	当該演習は4つの演習内容から成る。詳細な到達目標は当該演習要項に示す。以下は4つの演習内容における到達目標の概要を示す。 1. 地域診断では、収集した情報の分析から地域特性および地域の健康課題を明確にし記述することができる。 2. 健康教育では、取り上げる地域の健康課題から健康教育のテーマ・企画意図・対象・目的・目標を明確にしたうえで、必要となる健康教育の場や関係者、評価方法・評価指標などを選定し、目的・目標と対象者観に合った健康教育内容を検討し、指導案を作成することができる。 3. 乳児の発育発達測定技術では、家庭訪問を想定した環境下において、乳児の発育測定・発達確認を手順に沿い、かつ安全に配慮し行うことができる。また乳児の発育測定・発達確認からアセスメントし保健指導することができる。 4. 家庭訪問場面の展開では、本人・家族のアセスメント・看護計画立案ができる。および家庭訪問の導入から終結までの展開において本人・家族の実態や行動変容ステージを踏まえた保健指導ができる。
授業概要	公衆衛生看護活動の実践に必要な基本的技術の習得に向け、具体的事例を用いた演習を行う。

授業計画	1 授業内容 授業形態：講義、グループワーク 学修課題：当該演習内容および当該演習と公衆衛生看護学実習とのつながりを理解する。 学修内容：1. 全体オリエンテーション 1) 演習全体の説明、公衆衛生看護学実習とのつながりについて 2) 地域診断、健康教育、乳児の発育発達測定技術、訪問場面の展開の各演習内容の説明 2. グループ別オリエンテーション 事前学修：これまでに学修した地域診断、健康教育、家庭訪問に関する公衆衛生看護学の講義内容および乳児の発育・発達を整理する。 事後学修：演習要項に示す地域診断の学修を進める。 備考：高林、野口、前川、久保野 2 授業内容 授業形態：講義、グループワーク 学修課題：当該演習内容および当該演習と公衆衛生看護学実習とのつながりを理解する。 学修内容：1. 全体オリエンテーション 1) 演習全体の説明、公衆衛生看護学実習とのつながりについて 2) 地域診断、健康教育、乳児の発育発達測定技術、訪問場面の展開の各演習内容の説明 2. グループ別オリエンテーション 事前学修：これまでに学修した地域診断、健康教育、家庭訪問に関する公衆衛生看護学の講義内容および乳児の発育・発達を整理する。 事後学修：演習要項に示す地域診断の学修を進める。 備考：高林、野口、前川、久保野
------	---

3	授業内容 授業形態：演習 学修課題：講義で学習した地域診断の方法について、公衆衛生看護学実習市町村の統計・資料を用いて演習し、地区特性と健康課題を明らかにする。これにより地域診断を実施する技術を習得する。 学修内容：1. 地区特性の把握 2. 健康課題の分析 事前学修：演習要項に示す地域診断、健康教育、家庭訪問に関する学修を進める。 事後学修：演習要項に示す地域診断、および乳児の発育発達測定技術と家庭訪問に関する学修を進める。 備考：高林、野口、前川、久保野
4	授業内容 授業形態：演習 学修課題：講義で学習した地域診断の方法について、公衆衛生看護学実習市町村の統計・資料を用いて演習し、地区特性と健康課題を明らかにする。これにより地域診断を実施する技術を習得する。 学修内容：1. 地区特性の把握 2. 健康課題の分析 事前学修：演習要項に示す地域診断、健康教育、家庭訪問に関する学修を進める。 事後学修：演習要項に示す地域診断、および乳児の発育発達測定技術と家庭訪問に関する学修を進める。 備考：高林、野口、前川、久保野
5	授業内容 授業形態：演習 学修課題：講義で学習した地域診断の方法について、公衆衛生看護学実習市町村の統計・資料を用いて演習し、地区特性と健康課題を明らかにする。これにより地域診断を実施する技術を習得する。 学修内容：1. 地区特性の把握 2. 健康課題の分析 事前学修：演習要項に示す地域診断、健康教育、家庭訪問に関する学修を進める。 事後学修：演習要項に示す地域診断、および乳児の発育発達測定技術と家庭訪問に関する学修を進める。 備考：高林、野口、前川、久保野
6	授業内容 授業形態：演習 学修課題：講義で学習した地域診断の方法について、公衆衛生看護学実習市町村の統計・資料を用いて演習し、地区特性と健康課題を明らかにする。これにより地域診断を実施する技術を習得する。 学修内容：1. 地区特性の把握 2. 健康課題の分析 事前学修：演習要項に示す地域診断、健康教育、家庭訪問に関する学修を進める。 事後学修：演習要項に示す地域診断、および乳児の発育発達測定技術と家庭訪問に関する学修を進める。 備考：高林、野口、前川、久保野
7	授業形態：演習 学修課題：講義で学習した地域診断の方法について、公衆衛生看護学実習市町村の統計・資料を用いて演習し、地区特性と健康課題を明らかにする。これにより地域診断を実施する技術を習得する。 学修内容：1. 地域診断の発表および意見交換 事前学修：演習要項に示す地域診断、健康教育、家庭訪問に関する学修を進める。 事後学修：演習要項に示す乳児の発育発達測定技術と家庭訪問に関する学修を進める。 備考：高林、野口、前川、久保野
8	授業形態：演習 学修課題：講義で学習した地域診断の方法について、公衆衛生看護学実習市町村の統計・資料を用いて演習し、地区特性と健康課題を明らかにする。これにより地域診断を実施する技術を習得する。 学修内容：1. 地域診断の発表および意見交換 事前学修：演習要項に示す地域診断、健康教育、家庭訪問に関する学修を進める。 事後学修：演習要項に示す乳児の発育発達測定技術と家庭訪問に関する学修を進める。 備考：高林、野口、前川、久保野
9	授業内容 授業形態：演習 学修課題：家庭における乳児の発育・発達測定の方法を理解し家庭訪問時に安全・正確に実施したうえで保健指導を行うため技術習得に向けた練習を行う。また地域診断で取り上げた地域の健康課題を解決するために、特定の集団に対して行う健康教育の計画立案を行い、健康教育を実施するための技術を習得する。 学修内容：1. 乳児の発育発達測定技術の練習 2. 練習時間以外は、健康教育の企画書・指導案を作成する 事前学修：演習要項に示す乳児の発育発達測定技術と家庭訪問、健康教育に関する学修を進める。 事後学修：（同上） 備考：高林、野口、前川、久保野、佐藤
10	授業内容 授業形態：演習 学修課題：地域診断で取り上げた地域の健康課題を解決するために、特定の集団に対して行う健康教育の計画立案を行い、健康教育を実施するための技術を習得する。 学修内容：1. 健康教育の企画 2. 健康教育の指導案作成 3. 発表および意見交換

	事前学修：演習要項に示す健康教育の企画書・指導案に関する学修を進める。 事後学修：健康教育の企画書・指導案を発表および意見交換を踏まえ適切に修正する。 備考：高林、野口、前川、久保野 11 授業内容 授業形態：演習 学修課題：地域診断で取り上げた地域の健康課題を解決するために、特定の集団に対して行う健康教育の計画立案を行い、健康教育を実施するための技術を習得する。 学修内容：1. 健康教育の企画 2. 健康教育の指導案作成 3. 発表および意見交換 事前学修：演習要項に示す健康教育の企画書・指導案に関する学修を進める。 事後学修：健康教育の企画書・指導案を発表および意見交換を踏まえ適切に修正する。 備考：高林、野口、前川、久保野 12 授業内容 授業形態：演習 学修課題：家庭訪問を想定した環境下において、乳児の発育測定・発達確認を手順に沿い、かつ安全に配慮し行う。また乳児の発育測定・発達確認からアセスメントし保健指導を実施する。 学修内容：1. 乳児の発育発達測定技術（ロールプレイ） 事前学修：演習要項に示す乳児の発育発達測定技術と家庭訪問に関する学修を進め、特に乳児の発育発達測定技術を反復し習得する。 事後学修：乳児の発育測定・発達確認からアセスメントし保健指導が公衆衛生看護学実習で実践できるよう自身の課題を整理し復習を行う。 備考：高林、野口、前川、久保野、佐藤 13 授業内容 授業形態：演習 学修課題：家庭訪問を想定した環境下において、乳児の発育測定・発達確認を手順に沿い、かつ安全に配慮し行う。また乳児の発育測定・発達確認からアセスメントし保健指導を実施する。 学修内容：1. 乳児の発育発達測定技術（ロールプレイ） 事前学修：演習要項に示す乳児の発育発達測定技術と家庭訪問に関する学修を進め、特に乳児の発育発達測定技術を反復し習得する。 事後学修：乳児の発育測定・発達確認からアセスメントし保健指導が公衆衛生看護学実習で実践できるよう自身の課題を整理し復習を行う。 備考：高林、野口、前川、久保野、佐藤 14 授業内容 授業形態：演習 学修課題：事例を用いて、家庭訪問における対象者本人・家族への訪問場面の展開を実施（ロールプレイ）し、保健指導技術を習得する。 学修内容：1. 事前課題（看護計画等）の作成 2. 事前課題（看護計画等）の修正 3. 訪問場面の展開（ロールプレイ） 4. 訪問場面の展開に対する意見交換 事前学修：事前課題（看護計画等）を作成し、また演習の途中で行われる教員助言を踏まえ修正する。 事後課題：訪問場面の展開（ロールプレイ）における他学生の実践や意見交換を整理し、次年度の公衆衛生看護学実習での実践に向けて自身の課題を整理する。 備考：高林、野口、前川、久保野 15 授業内容 授業形態：演習 学修課題：事例を用いて、家庭訪問における対象者本人・家族への訪問場面の展開を実施（ロールプレイ）し、保健指導技術を習得する。 学修内容：1. 事前課題（看護計画等）の作成 2. 事前課題（看護計画等）の修正 3. 訪問場面の展開（ロールプレイ） 4. 訪問場面の展開に対する意見交換 事前学修：事前課題（看護計画等）を作成し、また演習の途中で行われる教員助言を踏まえ修正する。 事後課題：訪問場面の展開（ロールプレイ）における他学生の実践や意見交換を整理し、次年度の公衆衛生看護学実習での実践に向けて自身の課題を整理する。 備考：高林、野口、前川、久保野
評価方法、評価基準	到達目標1～4については、以下の方法により評価する。 評価は、4つの演習内容ごとに設定した評価項目に基づいて行う。 各演習の評価項目は、地域診断（10項目）、健康教育（20項目）、乳児の発育発達測定技術（20項目）、訪問場面の展開（10項目）とする。 評価項目の詳細については、当該演習要項に示し、初回講義時に説明する。 配点割合は以下のとおりとする。 ・地域診断：30% ・健康教育：20% ・乳児の発育発達測定技術：30% ・訪問場面の展開：20%
必携図書	一般社団法人厚生労働統計協会（2025年）：国民衛生の動向 2025/2026, 一般社団法人厚生労働統計協会.
参考図書・資料等	エリザベスT. アンダーソン, ジュディス・マクファーレイン 編（2007年）：コミュニティアズパートナー 地域看護学の理論と実際, 第2版, 医学書院. 公衆衛生看護学に関する1学年から3学年までの講義資料を持参すること。 その他の参考図書の詳細は、当該演習要項に示す。
受講、課題、資料配布等のルール	受講：欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡をする。 課題：授業時間内・演習期間内において課題作成・発表やロールプレイを行うことについて最初の講義時に説明する。 資料配布：最初の講義で講義資料（演習要項）を配布する。なお学生の発表資料の印刷方法は講義資料（演習要項）にて説明する。

教員からのメッセージ	当該演習は、公衆衛生看護技術論、対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱで学んだ公衆衛生看護活動の方法・技術を用いながら、4年次の公衆衛生看護学実習を見据えたグループ学習である。当該演習ではグループディスカッションを深めることも、より明確な地域診断や、より効果的な健康教育など、公衆衛生看護学の理解の深化と実習準備につながる。そのため公衆衛生看護技術の習得とともに、当該演習で生じた疑問や意見を積極的に発言しディスカッションが深まることを期待する。
オフィスアワー	随時（メールで事前に調整）